



DMX OPERATOR PRO

取扱説明書

Ver1.01



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は Elation DMX OPERATOR PRO をご購入頂き誠にありがとうございます。
DMX OPERATOR PRO の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、本書が保証書となりますので大切に保管してください。

基本仕様

- 16 DMX ユニット用ハイブリット・コンソール(8 インテリジェント・フィクスチャー、8 PAR ライト)
- プログラム可能な 6 つの PAR プログラム、ONE/MIX/SEQ
- プログラム可能な 8 つのフィクスチャー・プログラム、MIX/SEQUENCE
- 136 DMX チャンネル
- 96 のプログラム可能なフィクスチャー・シーン/PAR シーン
- スピード、フェードタイム、またチェースのマスターコントロールを装備
- ジョイスティックを使用しパン/チルトを調節可能
- 32MB コンパクト・フラッシュ・カードにメモリーをバックアップ可能(フラッシュカードはオプション)
- ブラックアウト機能
- フェードタイム/ノン・フェードタイムを設定可能
- 停電時のメモリー機能を搭載
- フォグマシーン・トリガー機能
- シーン、チェース、ブラックアウトを MIDI で操作可能
- ミュージック・シンク機能を搭載、オーディオ入力端子、内蔵マイクを装備

基本機能

フロントパネル

- **SCENE ボタン**
シーンの呼び出し、保存を行います。
- **CHASE ボタン**
チェースの呼び出し、保存を行います。
- **FIXTURE ボタン**
設定、プログラム、設定保存の際に灯体を選択します。
- **ディマー・フェーダー(1～16、129～136)**
各チャンネルの輝度を調節します。
- **PAGE ボタン**
シーンページやチェースページを選択します。
- **STEP / MIX / SEQ ボタン**
ステップ機能をオンにする、又は MIX モードとシーケンス・モードを切替えます。
- **TAP SYNC ボタン**
タップシンク・ボタンを連続して押すことによりチェース・レートを設定することが可能です。
- **AUDIO ボタン**
チェース・レートのオーディオシンクをオンにします。またオーディオエフェクトのシーンを設定することも可能です。
- **GROUP ボタン**
GROUP ボタンを押しながら FIXTURE ボタンを押すと複数の灯体を選択可能です。
- **BLACKOUT ボタン**
BLACKOUT ボタンを押すと DMX 出力のオン/オフを切替えることが可能です。LED が点灯している時 DMX 出力はオフの状態にあり、LED が消灯している時 DMX 出力は有効です。
- **SETUP ボタン**
3 秒間押し続けると SETUP メニューにアクセスすることが可能です。
- **FOG MACHINE ボタン**
フォグマシンの操作を行います。LED によりフォグマシンの状態を確認できます。
- **DEL ボタン**
シーンやチェースを削除します。
- **RECORD ボタン**
3 秒間押し続けるとシーン／チェース・モードにアクセスします。またシーンやチェースを保存する際にも使用します。

- **ESC ボタン**
動作状態を中止します。
- **UP / DOWN ボタン**
動作中に調節、又は選択します。
- **CH.PAGE ボタン**
チャンネル 1-8 とチャンネル 9-16 を切替えます。LED が消灯している状態でチャンネル 1-8、点灯している状態でチャンネル 9-16 が選択されます。
- **FINE ボタン**
各レベルの微調整を行います。
- **“∧∨<>”ボタン**
パン/チルトの微調整を行います。
- **ジョイスティック**
各レベルを XY 方向に操作、調節することが可能です。
- **STANDBY ボタン**
PAR ライトの出力のオン/オフを切替えます。
- **FADE+SPEED ボタン**
フェードタイム、又はフェードタイム無しを選択します。
- **FULL ON**
PAR ライトの出力を最大に設定します。
- **AUTO ボタン**
AUTO モードを有効にします。
- **ONE / MIX / SEQ ボタン**
ONE モード、MIX モード、シーケンス・モードを選択します。
- **SPEED スライダー**
シーンのチェースのスピードを調整します。
- **FADE スライダー**
フェードタイムを調節します。
- **AUDIO スライダー**
オーディオエフェクトを調節します。
- **MASTER スライダー**
コンソールの全体の出力を調節します。

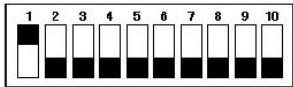
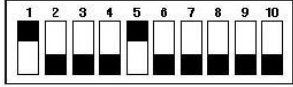
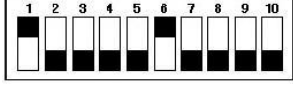
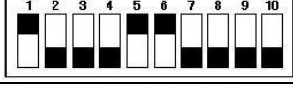
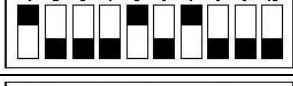
リアパネル

- **POWER**
電源のオン/オフを切替えます。
- **DC 入力**
DC 9～15V、500Ma
- **オーディオ・ライン入力**
0.1V～1Vp-p.
- **DMX 位相セレクトスイッチ**
DMX の位相を選択します(2－、3＋ / 2＋、3－)
- **DMX 出力**
DMX データを送信します。
- **MIDI IN**
MIDI データを受信します。
- **フォグマシーン入力**
フォグマシーンを接続します。
- **CF カードスロット(コンパクト・フラッシュ・カード)**
CF カード用のスロットです。
- **EXT STEP CONTROL 入力**
外部ステップ・コントロール信号を入力します。

セットアップ

DMX OPERATOR PRO では、FIXTURES ボタン 1-8 それぞれに 16DMX チャンネルずつ割り当てられています。FIXTURES ボタンと DMX アドレスの関連性については、下記の対応表を参照してください。DMX OPERATOR PRO での操作を行う前に、下記の対応表を参照の上、各照明機器で DMX アドレスの設定を行います。

FIXTURES ボタン/DMX アドレス対応表

FIXTURES ボタン	DMX アドレス	ディップスイッチ設定 (各先頭 DMX アドレスの場合)
1	1 - 16	1:ON 
2	17 - 32	1 + 5:ON 
3	33 - 48	1 + 6:ON 
4	49 - 64	1 + 5 + 6:ON 
5	65 - 80	1 + 7:ON 
6	81 - 96	1 + 5 + 7:ON 
7	97 - 112	1 + 6 + 7:ON 
8	113 - 128	1 + 5 + 6 + 7:ON 

灯体の操作

1. ジョイスティックを使用したフィクスチャー・チャンネルの操作

- DMX OperatorPro は 1～8 のフィクスチャー・ボタンが搭載されています。
- 各灯体はそれぞれ FIXTURE ボタンを押すことによって選択することが可能です。選択すると LED が点灯し、灯体が有効になります。
- GROUP ボタンを押しながら FIXTURE ボタンを押すと複数の灯体を選択可能です。
- ジョイスティックを使って動作中の灯体を操作することが可能です。その際関係するデータが LCD ディスプレーに表示されます。
- 選択されていない灯体は入力信号の表示がされません。
- 出力チャンネルは使用用途によって設定することが可能です。
- ジョイスティックを使って設定を行う際、FAST と FINE ボタンを使用することが可能です。また“∧ ∨ < >”ボタンも使用可能です。

※ジョイスティックの PAN(パン)TILT(チルト)設定方法

1. “SETUP”ボタンを 3 秒間程、上部の緑色 LED が点灯するまで押してください。
2. セットアップメニューとなり“DOWN”ボタンを 1 度押すと#2“ASSIGN CH.”のカーソルが点滅します。
3. “RECORD”ボタンを押してアサインチャンネル・オプション設定に入ってください。
4. “CH1 > CH1”と LCD ディスプレーの上段に表示されますので“PAN > NONE”と表示されるまで“UP”ボタンを押してください。
5. LCD ディスプレーに灯体の PAN 設定したい任意のチャンネルが表示されるまで“DOWN”ボタンを押してください。
6. “UP”ボタンを 1 度押して LCD ディスプレーの上段に“TILT > NONE”を表示させてください。
7. LCD ディスプレーに灯体の TILT 定したい任意のチャンネルが表示されるまで“DOWN”ボタンを押してください。
8. “GROUP”ボタンを押しながら“FIXTURE”ボタンを押してジョイスティックにアサインする灯体を選択してください。選択された“FIXTURE”ボタンの上の LED が点滅します。
9. 最後に“RECORD”ボタンを 1 度押して、設定を決定し保存します。LCD ディスプレーに瞬時的に“GOOD”と表示されます。“ESC”ボタンを 2 度押してメニューモードを終了してください。これによりジョイスティックで灯体の PAN と TILT を調節することが可能になります。

2. シーン/チェースをプログラムする

プログラムするには RECORD ボタンを 5 秒程押ししてシーン/チェースモードに入ってください。
LED が点灯し LCD ディスプレーに以下のように表示されます。

SELECT A SCENE OR CHASE ! PAGE XX

• シーンのプログラム

- 1) RECORD ボタンを押して CHASE/SCENE モードに入ってください。
- 2) SCENE ボタンを 1 つ選択すると LED が点灯し、LCD ディスプレーに以下のように表示されます。

EDIT SCENE XX/PG XX SAVE ESC PAGE XX

- 3) 単数、又は複数の灯体を選択してください。フェーダーと SCENE ボタンを使ってシーンを設定します。
- 4) RECORD ボタンを使ってシーンを保存してください。SCENE LED が点灯します。
- 5) シーンを消去する際には DEL ボタンを押してください。またプログラムを中止し CHASE/SCENE モードに戻る場合は ESC ボタンを押してください。

• チェースのプログラム

- 1) RECORD ボタンを 5 秒間押しして CHASE/SCENE モードに入ってください。
- 2) CHASE ボタンを 1 つ選択すると LED が点灯し、LCD ディスプレーに以下のように表示されます。

EDIT CHASE XX/TL XX ADD ESC STEP XX
--

- 3) UP/DOWN ボタンを使ってプログラムするステップを選択してください。
- 4) チェースボタンとフェーダーを使用してシーンを設定してください。
- 5) RECORD を押すと全ての LED が点滅し、新しいステップがディスプレイに表示されます。
- 6) DEL ボタンでステップを消去することが可能です。全ての LED が点滅し、ディスプレイに 1 つ前のステップが表示されます。
- 7) 3)～6)を繰り返してください。
- 8) ESC ボタンを押すとプログラムを中止し、CHASE/SCENE モードに戻ります。

3. シーン/チェースの選択

- シーンの選択

- 1) PAGE ボタンを押すとLED が点灯し、UP/DOWN ボタンでシーンページを選択することが可能になります。
- 2) シーンLED が点灯している時はシーンがプログラムされていることを示し、又消灯しているときはプログラムされていないことを示します。LED が点灯したらその関係しているボタンを押しシーンをスタートさせてください。LED が点滅します。
- 3) チャンネルをジョイスティックで操作することが可能です。
- 4) 1 秒間 SCENE ボタンを押すとシーンをリスタートすることができ、再度押すとオフになります。

- チェースの選択

- プログラムの選択

プログラムが作動していない時に MIX/SEQUENCE ボタンを押してプログラムモードを選択してください。LED が点灯している時、本機は MIX モードにあり、LED が点滅している時は SEQUENCE にあります。

- チェースのスピードモードの選択

プログラムされたチェースボタンを選択すると、LED が点滅します。LED が早く点滅している時は SPEED スライダー、又は TAP SYNC ボタンによって設定されたスピードを示し、遅く点滅している時はプログラムされているチェーススピードを示します。

- フェーダーによるチェースの操作

チェースが作動している最中にフェーダーによってチャンネルを操作することが可能です。元のトラックに戻る場合はチェースボタンのどれかを押してください。

チェースが作動している最中は全てのシーンは無効です。

- STEP

プログラムが動作している時に STEP ボタンを押すとチェースは1ステップ前に進みます。

- AUDIO

チェースが動作している時に AUDIO ボタンを押すと AUDIO LED が点灯し、AUDIO モードに入っていることを示します。FADE TIME は無効になり、TAP SYNC LED は点滅します。

- FADE TIME/SPEED

チェースが SPEED モード時に動作している場合、SPEED/FADE フェーダーを使用して SPEED と FADE TIME を設定することが可能です。

4. チェースの消去

- 1) RECORD ボタンを 5 秒間押して CHASE/SCENE モードに入ってください。
- 2) 消去するチェースを選択してください。LED が点灯しディスプレイに以下のように表示されます。

EDIT CHASE XX/TL XX ADD ESC STEP XX
--

“TL”は“TOTAL”を意味します

- 3) DEL ボタンを押しながら CHASE ボタンを押すと、数秒間のうちにチェースが消去されます。
- 4) ESC ボタンを押すと CHASE/SCENE モードに戻ります。

PAR ライトの操作

1. シーン/チェースのプログラム

- シーンのプログラム

- 1) RECORD ボタンを 5 秒間押しして CHASE/SCENE モードに入ってください。
- 2) 何れかの SCENE ボタンを選択してください。LED が早く点滅しディスプレイに以下のように表示されます。

EDIT SCENE XX/PG XX SAVE ESC PAGE XX

- 3) UP/DOWN ボタンを使ってシーンのページを選択してください。
- 4) SCENE ボタンとフェーダーを使ってシーンの設定を行なってください。
- 5) シーンをプログラムするために RECORD ボタンを押してください。LED が点灯します。またシーンを消去する際は DEL ボタンを押し、ESC ボタンで CHASE/SCENE モードを終了してください。

- チェースのプログラム

- 1) RECORD ボタンを 5 秒間押しして CHASE/SCENE モードに入ってください。
- 2) 何れかの CHASE ボタンを選択してください。LED が点灯しディスプレイに以下のように表示されます。

EDIT CHASE XX/TL XX ADD ESC STEP XX
--

- 3) UP/DOWN ボタンを使ってプログラムするステップを選択してください。
- 4) SCENE ボタンとフェーダーを使ってシーンを選択してください。
- 5) RECORD ボタンを押すと全ての LED が点滅し、新しいステップがディスプレイに表示されます。
- 6) DEL ボタンを使ってステップを消去することが可能です。全ての LED が一瞬点灯し 1 つ前のステップがディスプレイに表示されます。
- 7) 設定が終わるまで 3)～6)を繰り返してください。
- 8) ESC ボタンを押すと設定をキャンセルし、CHASE/SCENE モードに戻ります。

2. シーン/チェースの選択

- シーンを選択

- 1) PAGE ボタンを押すと LED が点灯し UP/DOWN ボタンを使ってシーンの選択が可能です。

- 2) シーンLEDが点灯している時はシーンがプログラムされていることを示し、又消灯しているときはプログラムされていないことを示します。LEDが点灯したらその関係しているボタンを押しシーンをスタートさせてください。LEDが点滅します。
- 3) SCENE ボタンを再度押すとオフになります。

- チェースの選択

- CHASE モードの選択

チェースが動作していない時に ONE/MIX/SEQ ボタンを押して CHASE モードを選択してください。LED が点灯している時、本機は MIX モードにあり、LED が点滅している時は ONE、また LED が点滅している時は SEQ モードにあります。

- AUDIO

チェースが動作している時に AUDIO ボタンを押すと AUDIO LED が点灯し、AUDIO モードに入っていることを示します。FADE TIME は無効になり、TAP SYNC LED は点滅します。

- STEP

STEP ボタンを押すと LED が一瞬点灯し、チェースは 1 ステップ前に進みます。

- FADE TIME/NO FADE TIME

FADE+SPEED ボタンを押して FADE TIME / NO FADE TIME を選択してください。FADE TIME と SPEED は互いに作用し合います。

- STAND BY

操作中に STAND BY ボタンを押すと PAR ライトの出力が停止します。

3. チェースの消去

- 1) RECORD ボタンを 5 秒間押して CHASE/SCENE モードに入ってください。
- 2) 消去するチェースを選択してください。LED が点灯しディスプレイに以下のように表示されます。

EDIT CHASE X/TL XX
ADD ESC STEP XX

- 3) DEL ボタンを押しながら CHASE ボタンを押すと、数秒間のうちにチェースが消去されます。
- 4) ESC ボタンを押すと CHASE/SCENE モードに戻ります。

基本操作

1. 設定モード

プログラムが動作していない状態で SETUP ボタンを 5 秒間押すと LED が点灯しディスプレイに以下のように表示されます。

1. CF CARD 2. ASSIGN CH.

(3. P/T FADE ONLY 4. DISPLAY MODE 5. MIDI CH.)

UP/DOWN ボタンを使って RECORD ボタンで設定モードに入ります。また ESC ボタンで設定モードを終了することが可能です。

2. CF カード(コンパクト・フラッシュ・カード)へのデータの保存

設定モードに入り、“1. CF CARD”を選択して RECORD ボタンを押してください。ディスプレイに以下のように表示されます。

1. READ FROM CF 2. STORE TO CF

UP/DOWN ボタンを使って“2. STORE TO CF”を選択し、RECORD ボタンを押してください。
UP/DOWN を使ってデータを保存するロケーション(1~99)を選択し RECORD ボタンで決定してください。ESC ボタンを押すと設定モードを終了します。

3. CF カード(コンパクト・フラッシュ・カード)へのデータの保存

設定モードに入り、“1. CF CARD”を選択して RECORD ボタンを押してください。ディスプレイに以下のように表示されます。

1. READ FROM CF 2. STORE TO CF

UP/DOWN ボタンを使って“1. READ FROM CF”を選択し、RECORD ボタンを押してください。
UP/DOWN を使ってデータの読み込み先をロケーション(1~99)から選択し RECORD ボタンで決定してください。ESC ボタンを押すと設定モードを終了します。

4. チャンネルアサイン

設定モードに入り、“2. ASSIGN CH.”を選択して RECORD ボタンを押してください。チャンネルアサイン・モードに入り、ディスプレイに以下のように表示されます。

CHANNEL 1 > OUT 1 OK ESC SEL ADJ

アサインする PAR ライトを選択してください。UP ボタンで出力チャンネルナンバーを選択し、DOWN ボタンで PAR ライトのチャンネルナンバーを選択します。設定が完了したら RECORD ボタンを押して決定してください。尚、ESC ボタンを押すと設定をキャンセルし、チャンネルモードを終了します。

5. PAN/TILT FADE ONLY モード

設定モードに入り、“3. P/T FADE ONLY”を選択して RECORD ボタンを押してください。PAN/TILT FADE ONLY モードに入り、ディスプレイに以下のように表示されます。

FIXTURE 1: ONLY OK ESC SEL ADJ

UP ボタンを使って設定する PAR ライトを選択し DOWN ボタンで FADE ONLY 、又は FADE ALL を選択してください。RECORD ボタンを押して決定します。尚、ESC ボタンを押すと設定をキャンセルし、PAN/TILT FADE ONLY モードを終了します。

6. ディスプレイモード(100/255)

設定モードに入り、“4. DISPLAY MODE”を選択して RECORD ボタンを押してください。ディスプレイに以下のように表示されます。

DISPLAY MODE : XXX OK ESC CHANGE

UP/DOWN ボタンを使って 100 又は 255 を選択してください。RECORD ボタンで決定します。尚、ESC ボタンを押すと設定をキャンセルし、ディスプレイモードを終了します。

7. MIDI チャンネル

設定モードに入り、“5. MIDI CH.”を選択して RECORD ボタンを押してください。ディスプレイに以下のように表示されます。

MIDI CH. <XX> OK ESC CHANGE

UP/DOWN ボタンを使って MIDI チャンネル(1～16)を選択し、RECORD ボタンで決定してください。尚、ESC ボタンを押すと設定をキャンセルし、MIDI チャンネル設定を終了します。

CF カードに関する注意

- CF カードを使用している時は CF カードをスロットから抜かないでください。
- CF カードにデータを保存している時、又は CF カードから読み取っている時は電源をオフにしないでください。
- 電源がオフの状態でのカードの抜き差しを行なってください。
- DMX OperatorPro は 32MB (メガバイト) の CF カードのみ使用可能です。
- CF カードにデータを保存する時、又は CF カードから読み取っている時は DMX OperatorPro の動作を停止してください。
- CF カードの取り扱いには十分ご注意ください。

MIDI ノートナンバー表

DMX OperatorPro は MIDI ノートを送受信することが可能です。以下の表を参照にして設定を行ってください。

NOTE NUMBER	FUNCTION
23-34	FIXTURE PAGE 1-12
35-50	PAR PAGE 1-16
51-58	FIXTURE SCENE 1-8
59-66	FIXTURE CHASE 1-8
67-72	PAR SCENE 1-6
73-78	PAR CHASE 1-6
79	PAR STANDBY
80	PAR FADE + SPEED
81	FIXTURE BLACKOUT
82	FIXTURE AUDIO
83	PAR AUDIO
84	PAR AUTO
85	PAR STEP
86	FIXTURE MIX/SEQ
87	PAR ONE/MIX/SEQ
88	PAR FULL ON

メモリーの消去

CHASE ボタン 3、6 と FIXTURE ボタン 2、7 を同時に押しながら本体電源をオフに切替え、再度電源をオンにしてください。ディスプレイが以下のように表示します。

CLEAR MOMERY NOW
PLEASE WAIT

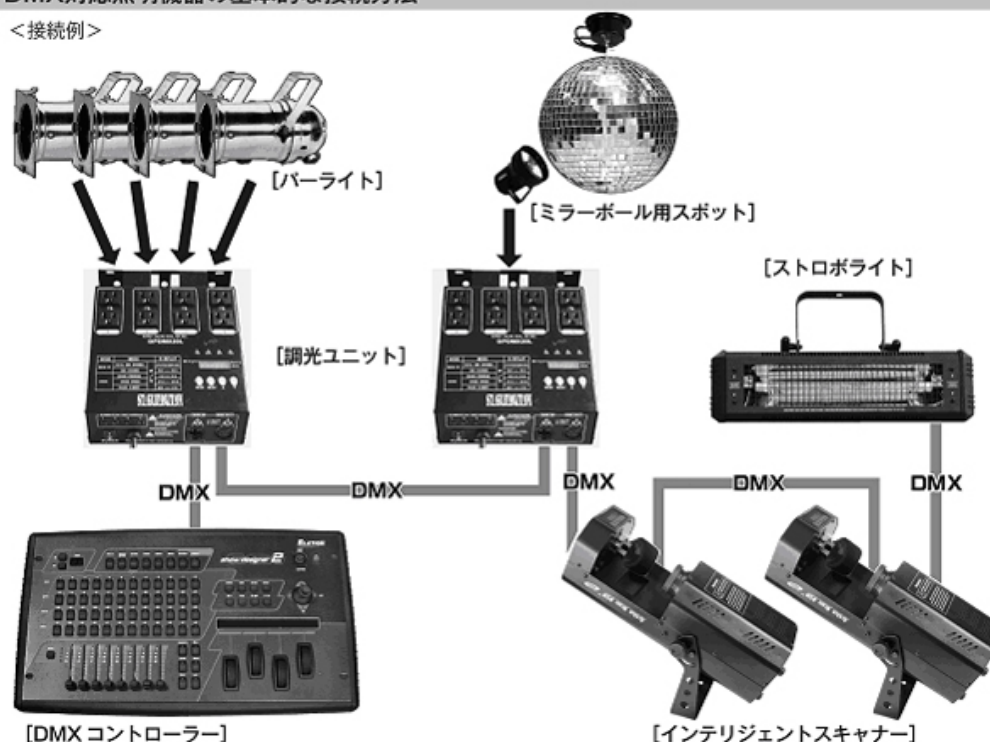
メモリーが 5 秒程で消去されます。

仕様

使用電源: C9～15、600mA
オーディオ入力: 内蔵マイク
サイズ: 482mm×178mm×80mm
重量: 6.2Kg

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。

・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が長くない様に配線してください。

※

・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。

・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ー長距離の配線についてー

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。
	自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、 120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社により着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。